

2023年4月1日

## 2023年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2023年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月23日開催の評議員会の意見を聴いた後、同日開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2022年7月1日に理事長名で「青山学院2023年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①安定的な収入の確保、②寄付金増加への取り組み、③中長期的計画の実現と学校間競争力の確保、④国際戦略のさらなる推進」などを予算編成の留意項目とし、予算編成方法の一部見直しの実施と、経常収支差額の確保に向けた定量目標を示しています。

青山学院では現在、「未来構想」を策定中であり、当年度予算は「未来」に向けての助走を始める年度の予算とも言えます。未来構想実現のための計画を財政面から支えるため、未来構想のための積立も開始いたしました。また、光熱水費の高騰といった厳しい状況に対しても、各設置学校の活動に影響させない方法で予算を確保しております。

当年度予算の収入面では、学生生徒等納付金の微増のほか、寄付金、補助金、付随事業収入の増収を見込んでおります。また、これまで外部委託してきた恩給（年金）会計の資金を学校会計の中で管理することとしたため、雑収入の中に回収金として計上しております。

一方支出面では、完成年度を迎える大学新図書館棟建築計画のほか、幼稚園園舎建替計画、2024年度を迎える学院創立150周年の記念事業、AOYAMA VISIONの実現に向けた施策等を予算に計上いたしました。恩給（年金）については、特別収支に年金引当金相当額を計上しております。また、各設置学校、法人各部署では、真に必要な予算の精査と取捨選択を行い、中長期的観点から取り組むべき施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 大学新図書館棟（仮称）建築計画費用（建築工事、引越費用等）
- ② 幼稚園園舎建替計画費用（建築工事、インフラ工事等）
- ③ 青山学院150周年記念事業のための費用
- ④ AOYAMA VISIONの実現に向けた施策のための費用
- ⑤ 既存施設の更新費用
- ⑥ 非構造部材の耐震化費用

等を計上しております。

以上